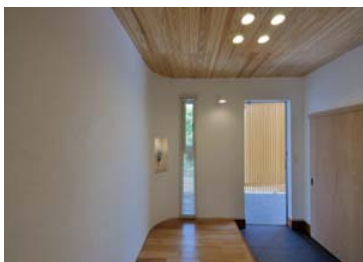




南面の川側に面するデッキ。樹種はセランガンバツで極めて腐食しにくい。



玄関・玄関ホール。外部のルーバーにより視線が直接通らない。R部分にはニッチ棚。



洗面所。マーブライトの造作カウンター。



玄関横の収納とシューズクローゼット。



リビングからダイニング方向を見る。左手にデッキ、右手は必要に応じて間仕切り可能な洋室。



北側アプローチとファサード。ルーバーの横から玄関に入る。塗壁の壁面は北側ということもあり比較的閉じた表情を持つ。

秋田市に建つ平屋の住宅です。近くには県内でも有数の交通量を誇る交差点がありますが、この敷地は周辺から切り取られたかのような静けさがあります。住宅南側には川があり、庭の木々の間から川を垣間見ることができます。この川との関係性が、住宅の有り様を決定づけています。

リビング・ダイニングと個室はパブリックとプライベートとして明快にゾーニングし、川を望む南側に配置され、中間領域であるデッキを介して庭と繋がります。

リビング・ダイニングは木質系の素材を多用し、屋根なりに傾斜した天井と間接照明、表しの独立柱や梁がインテリアの中心になります。

住宅西側に水回りやユーティリティ・スペースをまとめ、キッチンやリビングからのアクセスを容易にすることで、家事のし易さや使い勝手の向上を図っています。

北側アプローチから見る住宅エントランスはやや奥まっており、川に向かって開いた南側とは対照的に開口部を抑えた閉じた表情になっています。



ダイニングとリビング。床はオーク無垢フローリング、天井は無節の杉板張り。壁際に沿って間接照明を設けている。

お知らせ



□山形市で住宅展に参加します

ASJ 山形スタジオ
第22回未来をのぞく住宅展

TUY フレンドパーク
山形市白山1丁目10-8
7/27(土) 10:30~18:00 入場無料
7/28(日) 10:30~18:00 入場無料

開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

詳しくはこちらをご覧ください。



ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

仙台オフィス
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932
秋田オフィス
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316
HP: <http://www.issei-design.com/>
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>
Mail: info@issei-design.com

特集 "川を望む平家"

>> すてきなお土産

みなさんこんにちは。スタッフの小野です。先日、旅行のお土産でフィンランドのお菓子を、事務所で頂きました。世界一不味い飴で有名な「サルミアッキ」というものらしいです。ふたを開けて出てきたのはビタミン剤くらいの大きさの黒い飴。興味津々だった私は甘い考えで口に放り込みました.....
.....とりあえず後悔しました(笑)
食べた瞬間に襲ってきたのは、今まで経験したことのない独特の塩味と苦味。口に入れしばらく停止していましたが、身の危険を感じお茶をガブ飲みしました。それから数時間はお茶飲み続けましたね...。しかも一日の始めに食べてしまったので大変でした。人生でこれ以上の物には出会わないであろう貴重な経験でした。



>> プチ情報



スタッフの菅原です。今回から個人コーナーがはじまります。個人コーナーと言ってもまだ入社して1ヶ月でして...今回は新しい仲間、パリスたちを紹介することにします。こちらは先月からやってきたネスレ商品パリスたちです。実は私、ビンゴ大会で当たりました。自宅で置き場所に困っていたところ、タイミングよく事務所でコーヒーマーカーを買おうかとの話が出まして、ここは私が！と挙手し、置かせていただくことになりました。毎日本格的なコーヒーを飲み、仕事に励んでいます。

が、調子よかったのも2~3週間。最近は機嫌が悪いのかとても濃いです。単純にお湯が少ないだけですが、毎回薄めながら飲んでます。パリスたち、どうしてしまったの...(泣)
もしか、推奨品以外の豆(ピンタイプ)を使っているからでしょうか???

>> 編集後記

みなさん、こんにちは。今年も半分以上が過ぎて、早くも7月中旬になりました。秋田市では竿灯祭りの仮設の観覧席作りも始まり、お盆もあつと言う間に来てしまふな...という予感です。先週の木曜日~日曜日まで、仙台メディアテークにて「SAU+ 建築作品展 2013」に参加いたしました。たくさんのお客様にご来場いただきまして大変ありがとうございました。私は昨年に続き2回目の参加でしたが、今年も多く刺激や学びを得る事ができました。イベントの最終的な目的は「設計監理の受注」という事になりますが、直接的にその場で受注とは考えておらず、東北の有力な建築家集団 SAU+ の中で自分が何を感じてこれから何につなげていくかを学び取る事が最も大切だと考えています。当初諸々の事情から躊躇いもあり、一旦は不参加を表明したのですが、やはり参加してよかったです。多くの課題ややるべき事が見えた気がしますし、それらに即取り組む必要があります。いつやるの?今でしょ! これってその通りなんですよね。それでは次回もどうぞお楽しみに。



メディアテークでの展示の様子。各自が5.4m×3.4mの中で展示を行います。やるべき事がたくさん見つかりました。